

今号のラインナップ：秋期ウリマル開講式 / 活動報告 / 豆乳事業本部訪韓事業 / 情勢 NEWS /
大統領選挙に向けた広報活動 / 大統領候補者の顔ぶれ / 活動予定 / 編集後記

秋期ウリマル開講式 全国各地で開催！！！！

10月下旬から11月中旬にかけて、全国で秋期ウリマル（韓国語）教室開講式が開催されました。

10月31日に大阪府本部・生野北支部をはじめとして、11月1日に同本部・布施支部、3日に愛知県本部、4日に三重県本部、14日に京都府本部と兵庫県本部がそれぞれ開講式を開催しました。

各地ともに多くの同胞青年が集う中で、今後の学習プランや年間を通した韓青の活動を紹介するオリエンテーション、授業内容を体験する模擬授業などが行われました。

各地域の内容を紹介すると、愛知県本部の模擬事業では、まず参加者が自己紹介カードを記入し、名刺交換のような形式でお互いの自己紹介を韓国語で行いました。来年、韓青で祖国へ往来する時にむけて実践的な授業を今後も展開していく予定です。

また、三重県本部では、単語を組み合わせて文章を作るチーム対抗ゲーム形式の模擬授業が行われました。楽しく盛り上がった上に、各自が単語をたくさん覚えることができ、想像以上に良い授業になりました。

そして、大阪府本部では、生野北支部の教室に加え、今期から布施支部のウリマル教室（毎週木曜日、19時30分から）が再開しました。民族団体として地域の在日同胞青年のために最も貢献できることは、拠点を増やして民族との窓口を広げることです。ウリマル教室を増やすことは大変なことです、より多くの在日同胞青年が祖国や民族につながる入り口として、水曜日は生野北、木曜日は布施と二教室体制で大阪では頑張っています。



参加者からは「在日同胞として母国語であるウリマルをしっかり身につけたい」「同胞の友達を増やしたい」という感想や、「祖国に行った時に自分で会話できるように頑張りたい」「次回の韓国語能力検定試験で絶対合格する」という具体的な目標も発表されました。

各地域、終了後は交流会やバーベキューが行われ、参加者は親睦を深めました。ウリマル授業よりも交流会の時間が濃密（長い？）のは、韓青の伝統という参加者のコメントも印象的でした。

今後も、12月5日（水）に東京本部が開講式を開催する予定です。また神奈川県本部と広島県本部では随時受講生を募集しています。

毎週水曜日、19時30分から行われている各地域の韓国語教室は、レベルに応じたクラス編成で開催しています。初心者から会話中心のクラスまで幅広く対応していますので、ぜひ各地域のウリマル教室に参加してみてください。勉強はもちろん、新たな出会いもたくさんあります。

問い合わせは、フリーダイヤル0120-734-101まで（HPは<http://hanchung.org/>）。

活動紹介

故国訪問紀行に参加しました！

9月13日～16日にかけて、北側オリニ豆乳事業本部に所属する在日同胞の青年学生たちが、韓国・ソウルを中心に開催された豆乳事業主催の故国訪問紀行に参加しました。

豆乳事業本部はこれまで、統一マダンなどを中心に広報活動を展開し、子どもたちのための支援金を熱誠的に集めてきましたが、今回の紀行期間中に開催された「北側オリニ豆乳事業本部 後援の夕べ」で支援金を伝達することができました。日本からきた同胞青年学生ということで、参加者から温かい歓迎を受け、国内本部と日本本部の絆を深めていく場としていくことができました。

その後の紀行では、西大門刑務所、戦争と女性の人権博物館、日本大使館前に設置された「従軍慰安婦」少女像、マソク・モランボン公園、都羅山統一展望台といったソウル周辺の各地をめぐり、植民地支配から分断につづく、私たち民族の苦難の歴史と、それに決然と立ち向かっていった民衆たちの闘いの様子を学んでいくことができました。その過程を通じて、参加者たちは今後自分たちも祖国の統一と平和にむけて努力していきたい、という意識を持つことができました。また、紀行中に漢陽大学で開催された闘争歌、民衆歌謡の作曲家として著名であるユン・ミンソク氏を後援する音楽会に参加することができ、現在の韓国の若者たちのエネルギーあふれる姿を体感していくことができました。

豆乳事業本部の趙映和本部長は事業を振り返って、「李明博政権の反統一政策によって、情勢は厳しい状況であるが、豆乳事業は中でも推進できる貴重な運動。豆乳事業自体を発展させていくことによって、統一運動の発展に貢献できればよいと思う。今回のような紀行は青年学生にとって、非常に良い学びの場となるので、今回に限らず、来年も実現できるように努力していきたい」と今後の抱負を語りました。



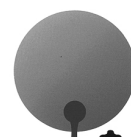
韓国語教室 「ムグンファ」

見学・体験レッスン随時受付！

担当：金梨恵(私・イ)
080-6510-1973

韓国語教材専門インターネット書店

ハングルの森



Internet Bookstore

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>

10・4宣言5周年記念行事を韓青らで企画

歴史的な10・4宣言5周年を祝して、韓青が在日本朝鮮青年同盟（朝青）などの在日同胞団体とともに、東京と大阪で、それぞれ記念行事を開催しました。

東京では10月7日、「10・4宣言5周年在日同胞青年の集い（재일동포 청년들의 모임）」を開催しました。集いには首都圏を中心に関東の幅広い地域から多数の同胞青年が参加しました。

文世賢委員長は主催者あいさつで「李明博政権の対北敵視政策によって6・15共同宣言と10・4宣言は否定され、南北関係は和解と協力から敵対関係に陥ってしまった。私たち同胞青年の力で必ずや和解と協力時代を取り戻し、祖国統一を実現しよう」と話しました。また、朝青中央の金チャドル委員長は乾杯あいさつで、海外同胞、とりわけ在日同胞青年の団結を強調されました。



集いでは、南・北・海外同胞が一体となって展開した統一運動の歴史を映像で振り返り、また6・15共同宣言実践海外側委員会が運営しているフェイスブックページの案内も行われました。参加者らは統一運動を牽引した在日同胞青年の姿に思いを馳せながら、テーブルごとに楽しく交流・親睦を深めました。最初は緊張気味の面持ちでしたが、そこは在日同胞青年の本領発揮（?）。お酒が進むにつれて、あっという間に意気投合！テーブルのあちこちから笑い声とともに「祝杯～」の歓声が広がりました。

最後に朴明哲副委員長が閉会あいさつで、「10・4宣言こそ統一のための実践綱領」としながら、「統一機運を盛り上げて来年の10・4宣言の際には、私たちが中心となって今年以上の取り組みを実現しよう」と訴え、両団体が連帯して在日同胞社会で統一機運を盛り上げることを約束しました。

大阪では10月3日、生野区民センターで「10・4宣言5周年記念 祖国統一フォーラム・大阪」を開催しました。主催は韓青のほかに、学生協、朝青など、大阪の地で祖国統一を願い活動する在日同胞青年学生を中心とした実行委員会で、6.15共同宣言実践日本地域委員会、在日朝鮮人平和統一協会が後援しました。

当日、会場には300名ほどの在日同胞が詰めかけました。オープニングでは韓青がサムルノリ演奏で会場を沸かせ、次いで1世たちの統一メッセージ映像、来賓あいさつなどを経て、今回のメインイベントである、在日同胞新世代によるパネルディスカッションが進行されました。ディスカッションでは在日同胞の和合など、祖国統一にむけた課題に関して様々な意見が交換される中、韓青・学生協はと



もに韓国の李明博政権の反統一政策によって統一機運が大幅に後退していることを指摘し、今回の大統領選挙による、韓国の政権交代が祖国統一の重要課題であることを主張。会場の在日同胞にむけてさらに関心をもって選挙に参加するように訴えました。

最後には韓青と朝青が共同宣言文を朗読して6・15共同宣言、10・4宣言の履行による、祖国統一の実現を参加者全体で共有しました。

コリアンフェスティバル in 四日市2012開催！



去る10月14日（日）正午より、三重県・四日市市の市民公園（アピタ四日市前）にて「食と文化の祭典 みんなおいでよ サランヘヨ コリアンフェスティバル in 四日市 2012」を開催しました。本企画は、韓統連三重本部と韓青三重県本部が、四日市市内で飲食店を営む在日同胞に対し、「食と文化を入り口としながら、在日韓国人の存在や朝鮮半島の問題を訪れた日本人に伝えよう」というコンセプトの下、実行委員会を立ち上げ、企画・準備・運営を行いました。

当日は、韓青愛知をはじめとする全国の韓青同志たちが応援に駆け付け、延べ1000人規模の

来場者となりました。出店ブースには、実行委員メンバーらの飲食店が出店し、民族色あふれるお食事でおもてなし。「四日市コリアンフードNo. 1決定戦＝コリワンGP」では、各飲食店舗が独自に韓流メニューを出品し、王座決定を来場者の投票によって決めていきました。舞台では、実行委員によるKARAのモノマネ男性ユニット「四日市HARA」によるダンスのオープニングアクトから始まり、民族色あふれるサムルノリ・舞踊・テッコンドー・K-popによるキッズダンスなどが披露されました。

韓青三重県本部による「ノレアンサンプル～過去・現在・未来～」では、在日韓国人が日本の地に渡らざるを得なかったその理由や、今も残る差別構造、そして未来を輝かしいものにするためにも、年末の大統領選挙に向け、獲得した選挙権をしっかりと行使することの重要性を在日同胞や日本市民に強く訴えました。最後には、コリワンGPの発表と抽選会を行い、お決まりのノレチャラン&群舞で幕を閉じました。

韓青愛知県本部 第23次定期大会を開催！

愛知県本部は9月30日、名古屋市内で第23回定期大会を開催しました。当日は韓青愛知の常任・盟員はもちろんのこと、全国の同志、先生、先輩方が多数駆けつけ、新執行部の出帆を祝福しました。

チョウ・キルチュン前委員長の「22期執行部で築き上げた成果を土台に、いまこそ私たち一人ひとりが歴史の意思を实践する主体者になろう」という主催者あいさつから始まった大会では、来賓からの激励辞に続いて運動総括、活動方針案が採択された後、新執行部が選出。新委員長にはチョウ・ファミ・前宣伝部長が選ばれました。



新委員長は就任あいさつで「外勢によって分断された祖国と日本社会の差別構造のなかで、いまだ在日同胞は真に人間らしく民族的に生きることができない。愛知の仲間とともに、私たち青年の力でこの状況を変えていこう。年末の大統領選挙で、保守勢力の再執権を阻止し、平和と統一を実現する大統領を誕生させよう」と語りました。委員長に続いて盟員・常任からの決意表明もあり、参加者全員が決意を共有する中で、新たな愛知県本部の活動がスタートしました。



情勢NEWS

<いよいよ大詰め！韓国大統領選挙>

大統領選挙の投票日（12月19日）まで1ヵ月を切りました。

保守勢力の再執権を絶対に許さないという民衆たちの思いは、李明博大統領や朴槿恵大統領候補のスキャンダルへの迫及、投票時間の延長を要求する広範な運動として表われ、そうした民衆パワーが後押しする形で野党圏の候補者一本化に向けた動きが加速しています。

保守勢力のスキャンダルとは、李明博大統領の「私邸用地不正購入疑惑」と、朴槿恵候補の「正修奨学会問題」です。

「私邸用地不正購入疑惑」とは、2011年に李大統領の長男李始炯氏が私邸用の土地を買い、一方でその周辺の土地を大統領府が警護施設用に購入したのですが、始炯氏の負担した金額が相場より不当に安く、青瓦台の負担金額は高かったため、実質上、国家が費用の一部を肩代わりしたという疑惑です。また購入資金を大統領が負担したという疑いもあり、不動産登記実名制に違反した容疑もかけられ、11月2日には特別検事チームが、大統領自身が私邸の建設にかかわっていたことを明らかにしました。

「正修奨学会問題」とは、1962年に朴正熙大統領が民間の奨学会を「献納」させた過去の強奪問題と、10年間、理事長に就いていた朴槿恵候補の私物化（莫大な献金）の問題などです。過去に父親が強奪した奨学会から多額の政治資金を流用してきた朴槿恵候補は、裁判などで自身の歴史認識の問題を追及されています。

それだけでなく、国民の要求する「投票時間の延長」に対しても反対の立場に立ち、国民世論と保守勢力は真っ向対立することになりました。

9月の国会で民主統合党は、現行では朝6時から夕方6時までの投票時間を、1～2時間程度延長しようとする「公職選挙法改正案」を提出しました。



それには、非正規職の割合が年々激増しているために、投票率が下がり続けるという現実が背景にありました。(97年 80.7%→02年 70.8%→07年 63%)

韓国では、総選挙や大統領選挙の日は休日になりますが、有給休暇のない非正規職の人たちには関係ないのです。

それに対して、朴槿恵候補は「関連費用が100ウォンかかるのに、それほど価値があるのか」と発言し、「国民の参政権保障要求を価値がないとひと言で踏みにじることは、政治の基本的な責務さえも放り出す無責任な行為」「朴候補は国民大統合を主張しているが、午後6時まで働き、投票できない国民は含まれていないのか」「国民主権の保障さえもお金で計算する朴候補は、骨の髄まで金権政治を崇拝する候補」と野党や市民団体が一斉に批判、署名運動やキャンドル集会など投票時間の延長を求める運動を活発化させています。

市民たちは「投票権保障共同行動」を組織して、「選挙日は有給公休日に、投票時間は夜九時までに」の声を上げ、野党圏の大統領候補の単一化を目指す文在寅候補と安哲秀候補も、両候補が共同で努力することを合意しました。

こうした共同行動が、保守勢力の再執権を許さないさまざまな民衆運動と一体化して行われていることに大きな意味がありますし、大きな希望が持てると言えます。これこそが、進歩的政権交代実現に向けた第一歩といえるでしょう。

～2012年 政治決戦に向けて～

そうだったんだ！ 国政選挙

Vol. 8 大統領候補者の南北・統一政策集！

大統領選挙もあと1ヶ月に迫りました。

候補者も出揃い、野党圏の統一候補に誰になるのかも大変な注目を集めています。そのような中、今回は主要な候補者の南北・統一政策について、各候補が発表した公約や中央選挙管理委員会の公約集などから紹介します。

また、大統領選挙に向けて在日同胞の関心を高めるため、6月から各地で展開した在日同胞アンケートの結果もあわせて掲載します。ご協力カムサハムニダ。ぜひご参照ください。

● 野党圏の主要候補の南北政策

① 民主統合党・文在寅（ムン・ジェイン）候補 （11/11、5大門政策公約を発表）



【朝鮮半島平和構想】

- 6・15 共同宣言、10・4 宣言を履行・発展
- 9・19 共同声明の履行⇒朝鮮半島の冷戦構造の解体⇒朝米・朝日関係正常化⇒停戦協定から平和協定への転換
- 当選後、引継ぎ過程で“平和プロセス”草案を確定
- 2013 年、韓米・韓中首脳会談を経て、南北首脳会談を開催して調整。
- 2014 年、6 者協議参加国の首脳と“朝鮮半島平和プロセス”に合意。これを“東北アジア多者間安保協力機構”へと発展させ、同機構の本部を非武装地帯に誘致。

② 無所属・安哲秀（アン・チョルス）候補 （11/8、統一・外交政策を発表）



【強くて堂々とした平和な朝鮮半島】

- 南北関係を基盤に北核問題と平和体制を解決。
- 南北対話を優先的に推進し、6 者協議を再開し、適切な時期に 9・19 声明に則って、南・北・米・中による 4 者フォーラムを開始。
- 西海の早期安定と常設的な紛争解決機構を北と協議のうえで設置。
- 南北対話の早期再開と首脳間ホットラインの設置。
- 朝鮮半島平和共存の南北間の信頼構築の制度化。

③ 統合進歩党・李正姫（イ・ジョンヒ）候補 （11/11、4大核心議題と主要公約を発表）



【6・15、10・4 宣言の実践と法制化

～想像しよう！コリア連邦】

- 6・15 共同宣言、10・4 宣言の実践を担保する特別法制定。
- 南北首脳会談の推進。
- 5・24 措置の即刻解除。西海平和協力地帯合意の実践。
- 開城公団、金剛山観光の再開。
- 南北関係発展のための法律、南北交流協力に関する法律の整備。
- 平和協定義務の履行と朝米・朝日関係正常化および駐韓米軍撤収を同時推進。
- 国家保安法を廃止し、統一への道を造成。

● 与党候補の南北政策

セヌリ党・朴槿恵（パク・クネ）候補 （11/5、外交統一政策を発表）



- 南北首脳会談開催の意志を表明。
- 経済協力と社会文化交流の活性化のために、ソウルとピョンヤンに交流協力事務所を設置。
- 外交・安保・統一問題のコントロールタワーとして国家安保室（仮）を構成。
- 北朝鮮の挑発を抑止するために、韓米同盟を含む防衛力量を強化。
- 北の非核化の進展にそって応分の政治・経済・外交的措置をとる。

《大統領候補者に送る在日同胞アンケート結果》※複数回答のため合計が100%を越えます。

1. 次期大統領に期待したいことは何ですか？

- ①朝鮮半島の平和と統一（73%） ②在日同胞への理解・支援（49%） ③韓日関係の発展（28%）
④韓国の民主主義と人権（20%） ⑤韓国経済の活性化（18%）

2. 南北関係発展のために必要と思われることは何ですか？

- ①6・15、10・4宣言の履行（46%） ②首脳会談など南北当局間対話（42%）
③南北軍事緊張の緩和（41%） ④経済文化・スポーツ交流（28%） ⑤離散家族の再会（19%）

3. 在日同胞のために必要と思われることは何ですか？

- ①民族教育への支援（68%） ②在日同胞団体・地域同胞コミュニティへの支援（59%）
④韓国政治への積極参与（12%） ③同胞企業への支援（13%） ⑤韓国企業への雇用拡大（11%）

4. 韓日関係を改善・発展するために必要と思われることは何ですか？

- ①従軍「慰安婦」など植民地支配の清算（47%） ②韓日の共同歴史研究（37%）
②幅広い韓日人的交流（37%） ④文化経済交流の拡大（22%） ⑤政府レベルの対話（21%）

PICK UP!

◎ 各地域(本部)で年末・年始事業を開催します。

韓青全国の本部・支部にて、年末にはクリパ・送年会を、年明けには新年会・成人祝賀会を企画しております。これから決定する各地域の日程・場所などは決定次第ホームページで随時ご案内します。または、各本部に直接お問い合わせください。0120-734-101

<成人祝賀会>

【関東】1月20日(日)、東京都内で開催予定

【中部】1月20日(日)、名古屋市内 or 四日市市内で開催予定

【近畿】1月20日(日)、京都市内で開催予定



◎スノーフェスティバル 2013 の日程が決定！！！！



韓青のビックイベント／『第49回韓青全国冬期講習会』 - スノーフェスティバル2013を開催します！

各地から同胞の仲間たちが集まり、スキー・スノーボードはもちろん、ゲーム大会や班別ディスカッション、韓青文化マダンなど楽しいイベントが盛り沢山！！

同世代の仲間たちと「韓国人である自分」を見つめ、語り合える韓青のスノーフェスティバルに、是非ご参加ください。

日 程：3月1日(金)～3月3日(日) ※出発は2/28(木)の深夜

場 所：長野県 志賀高原 志賀ハイランドホテル

参加費：一般28,000円 高校生23,000円 (交通費・食費・イベント代込み)

⇒お問い合わせは、0120-734-101 まで

編・集・後・記



事務所の引越しや編集体制の再編などの理由が重なってしまい、久しぶりの発刊です。大変、申し訳ございません。いよいよ大統領選挙が1ヶ月を切りました。絶対に 6・15 政権が勝てますように、檀君ハラボジにお祈りを捧げている日々です。(賢)